

第3回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和5年1月30日(月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎 3階 302・303 会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	向笠地区長 大藤地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校PTA代表 向笠小学校PTA代表 大藤小学校PTA代表 岩田小学校PTA代表 向笠幼稚園PTA代表 岩田こども園保護者代表
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

会議概要

1 教育長挨拶

寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。令和5年がスタートしました。本年もどうぞよろしく願いいたします。今年は、「みずのと・う」で縁起がよく、今まで努力してきたことが花を開くという、いい年回りという話を聞きます。去年は、災害もありましたが今年はいいい年になってくれるといいなと思っています。

元マラソンランナーの高橋尚子さんがシドニーで優勝したときに、「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く」という言葉を残しています。自分がこの言葉が好きで生徒にも話をしたことを思い出します。

磐田の教育についても少し紹介させてください。磐田の教育目標は、「ふるさとを愛し未来をひらく 心豊かな 磐田市民」です。また教育大綱というものがあって、「いのちを培う」「誇りを培う」「礼節を培う」「敬愛を培う」「感謝を培う」「こころざしを培う」と6つの「培う」が掲げられ大事にしています。この「培う」というのが先ほど話をした根っこになります。東井義雄さんという方が「培其根(ばいきこん)」というものを書いています。「根を養えば、木はおのずから育つ」「根の深さと広がり、樹の高さと広がり」

なる」など根っこに関していろいろなことを書いてくださっています。磐田市の教育大綱は、この6つの大事なことを「培う」ことで磐田の人づくりができるといいという思いが込められています。

私は、このような願いを受けて、小中一貫教育やコミュニティ・スクールを進めていきたいと思っています。これまでも人と人とのつながりは大事にしてきましたが、さらにそのつながりを充実発展して培い、根を張っていく子供たちを育てたいということで学府一体校が構想されています。

本日は、子供たちにとっても地域の皆さんにとっても、また教師にとっても総意の中で決めていただけるとありがたいと思います。

2 議事

校名の選定方法について協議をする前に事務局から県内の施設一体型小中一貫校の校名の事例について説明しました。

(事務局)

前回の準備委員会の折に、浜松市の状況を知りたいという発言があったので、浜松市教育委員会に聞き取りを行った。

浜松市の事例【中部学園と庄内学園の場合】ですが、開校準備会という会議で選定方法を協議して、公募に決定した。

公募の結果、5つの校名を準備会で選定し、その後準備会で1つに絞った。

一つに絞ったものを住民に再度諮ることはしなかった。

準備会で選定した校名を教育委員会に要望という形で提出をしている。

県内の他市の施設一体型の事例ですが、県内の義務教育学校は伊豆市の土肥小中一貫校で、小中学校はどこも小学校と中学校が同じ名称となっている。長井崎小学校・中学校と両河内小学校・中学校以外は、1小1中が施設一体型となっている。

資料2-1は、校名に関するアンケート調査の案。

前段部分に準備委員会として向陽小を候補とする理由を入れて、向陽小がよいか、ほかの校名がよいかを問う形となっている。

また、向陽小以外がよいと答えた場合には、新しい小学校の名称とその名称にした理由や思いを書いてもらう。校名を考える場合の注意事項を入れる必要があると思う。

自治会名やお名前を記載する枠を設けたが、必要性について御意見をいただければと思う。

資料2-2は、公募の場合の検討資料で、第1回開校準備委員会の資料と同じものを配付した。公募の場合は、募集要領について検討をする。

(委員長)

事務局から説明がありましたが、何か御質問、校名を選定するにあたっての考え等を自由に発言していただければと思う。

(委員)

確認と大藤で行ってきたことを紹介する。

アンケート調査の確認ですが、アンケートの対象は、どう考えているのか。全自治会全世帯なのか。一体校になるときの対象となる小学校の低学年、園児、未就学児なのか、確認をしたい。

校名について、自治会で確認をしてきた。1月11日の定例会で確認をした。129世帯、大藤地区約10%から回答をもらったが「向陽小は、なじみがあってよい」「同じ敷地の中に向陽中という従来のものと新しくなった小学校の名前が別に違ってもいいのだろうけど、違う校名があるのはおかしい」という意見があった。結果、大藤の自治会全部から向陽小学校でいいのではないかという回答をいただいた。

→ (事務局)

このアンケート調査案の一番下の検討事項のところにアンケートの対象、回収方法等も書かせていただいたので、この会の中で対象、配布方法、回収方法等について御意見をいただければと思う。

(委員長)

向笠や岩田地区の様子もお聞かせ願いたいと思いますが、いかがか。

(委員)

12月7日の自治会長会で協議をした。もう自治会長の認識は、向陽小学校しかなかった。それから1カ月以上たつが、それについて異論や意見は届いていない。前回の会議で小学生や保護者の意見を聞いた方がよいという意見があったので、このアンケートの前段部分で準備委員会としての意見を書き、それに対して意見を聞く必要があるかと思う。

(委員)

自治会長さんに委員長が作った、150年の歴史の資料をつけて、現在開校準備委員会の委員の意見として向陽小学校という案が挙げられているが、どうかと伺った。自治会長の皆さんに賛成していただいた。また、他の協議会、防犯、シニアクラブなどにも同じような旨を話したら、向陽小でよいという意見が出てきた。さらに地区の皆さんには交流センターだよりの新年の挨拶の中で校名と開校のことを書いた。現在向陽小学校の案が挙がっていてアンケートがあるかもしれませんが、現段階で御意見のある方は交流センターの方に理由を教えてくださいとお願いしたところ、現段階で反応はなかった。それからすると、そんなに細かく知らせることをしなくても、今出しているかわら版のようなものを出して周知させれば、多分岩田地区では反対は出ないと思っている。

(委員長)

それでは、続いてPTAの方お願いします。

(委員)

こちらの説明としては、基本は、向陽小学校でそれに加え公募やアンケートの話が出ていることを伝えた。「公募にしてしまうと範囲も選択肢も広がり過ぎてしまう心配があ

る」という意見が出た。概ね向陽小ということで納得されているという感じだった。

(委員)

「向陽小以外には考えられないだろう」や「向陽小以外に思い浮かばない」という意見で、ほかにこれといった校名は出てこなかった。

(委員)

三役で話をしたときに「もう向陽小に決まっていると聞いている」という雰囲気の話をしていた。これで決まりの方向でよいと思うが、アンケート等で意見は聞いた方がいいと思う。

(委員)

三役で話をしたが向陽小以外に出なかった。選定方法は2つにわかれた。一つはある程度しぼって、アンケートを取るということと、もう一つは公募の中から決めていくというもの。公募で決めていくという意見の中には、各小学校150年くらいの歴史があって、これから統合されたあとも何十何百年という歴史を培っていく中でやはり周りには決めてほしくないという意見もあり、今後の歴史を考えると公募でもよいという話が出ている。

(委員)

向陽小が一番いいのではないかという意見がたくさんあり、アンケートもいらぬのではないかという意見もあった。向陽小がいいと思っているけど、もしほかに案があれば伺うという形でもいいのかと思う。

(委員)

一体校の情報について定かでない方が結構いる。今後どのように進めていくのか説明をしていただきたい。また校名に関して向陽小という案もあるが、違う名前を付けてもいいということを知らない人がたくさんいる。公募にするなら、向陽小になるということを消していただいて自由に書いていただけるようにしていただきたい。

(委員長)

学校の方はどうでしょうか。

(委員)

前回の会議の時に学校の方は、特に聞かなくてもよいという話だったので、取り立てて確認をしたということはない。

(委員)

一応、このような動きがあるということは職員に説明してある。

先ほどの説明会の話ですが、何年か前から地域の公民館を利用して説明会を開いていると思う。

(委員)

職員に校名に関するアンケートはとっていませんが、ざくばらんな雰囲気の中で校名について聞くと皆さん向陽小でいいのではないかという返事だった。

(副委員長)

一応アンケート的なものを取ってみた。8割が向陽小でいいのではないかということと、その他の意見として公募で聞いていく、もしくは中学生にも聞いてみるのはどうかという意見もあった。

(委員長)

皆さんの意見を聞くと、向陽小学校でいいのではないかという雰囲気があるわけですが、勝手にこの準備委員会でそうしましょうというわけにはいかないと思う。

もう少し詰めた内容の御意見を伺いたい。

(委員)

結局聞いている人が年配の方が多くて、若い人や子供を持った人に意見を聞いていない。そう考えるともう少し幅広い年代にアンケートのようなものをとるのがいいと思う。説明会についても確にかかわら版は出ているが節目で説明会があってもいいという声が地域では挙がっている。必要な情報を欲しい人たちに対して、説明会が必要ではないかと思う。

(委員)

かわら版をもう少し頻繁に出してもらいたい。十分に説明はついていると思っている。校名に関しては、聞いている中では向陽小以外に出てくる余地がなかったように思う。説明会は、やらないってわけではないけど今、何を説明するのかなという疑問がある。私は、アンケートをそんなに細かくやらなくてもかわら版で知らせて、このような方向に進んでいるということを知ってもらった上で御意見ある方は連絡してくださいという程度でいいのではないかと思っている。

(委員)

準備委員は、確かに地区やそれぞれの団体の代表だけれども何人いるか。やはり、代表者以外からも幅広くアンケートをとって、かなりの方から同意をもらっていますというインパクトが欲しいと思う。ここは、説明できる根拠を作っていないといけないし数字が欲しいと思う。

(委員)

この校名に関するアンケート調査は、PR でもある感じがする。議会にも諮るといふことなので、どれくらいの総意で決まったかというバックボーンが欲しいと思う。手間暇かかってしまうかもしれないが、アンケートはやったらどうかと思う。アンケートへの記名は、責任をもってもらおうということで書いてもらった方がいいと思う。

(委員長)

先ほども出ていたが、一体校について知らない人は、結構な人数いると思います。だから、これを機会に一体校についての資料をつけながら、準備委員会の意見を入れて、また、その考えに縛られることなく、自由に校名を考えてよいというアンケートにすればいいのではないかと思う。あとは、対象をどうするかということになるのではないかと思って

いる。住民、保護者に聞くのは、どちらかといえば公募型のような感じがする。

(委員)

例えば、まずアンケートをやったとして向陽小しかないというような結果が出ればこれで決まりということか。そうすると公募の場合の4番目。児童生徒には学校で配布する。幼稚園、こども園で配布するというのは、アンケートも同じということですね。

(委員)

先ほど、近隣の幼稚園、保育園にもということでしたが、学校には10園以上の子どもが入学してきますので現実的には難しいと思う。未就学児をもたれる家庭にもということであれば、世帯対象のアンケートでないと難しいと思う。

(委員長)

そうすると、全世帯配布くらいか。

(委員)

集計はどうします。

(事務局)

集計は、事務局で行う。アンケートの取り方についてもいろいろなやり方を用意しておく必要があると思っている。QRコードを読むLoGoフォーム、メールやFAXまた紙でないと無理という方もいらっしゃると思う。また提出する場所も指定しないといけないと思う。

(委員長)

全世帯に配布したり、メディアを使ったりすると一世帯に複数の回答が可能になるけどそれでもいいですね。

(事務局)

結局、このような募集や回収の仕方になるとそれも仕方ないかなと思うが、先ほども出てきた記名をしていただくことで誰でも何回でも、というのがなくなるかと思う。他市町でこのような公募の状況を見ると、記名をして提出するというところが多いという印象。

(委員長)

校名をある程度この会で方向づけするためのアンケートを実施するということによるのか。自治会全世帯対象に配布する。答え方は複数の方法を用意する。事務局に次回までにその案を作ってください。

(事務局)

皆さんから出された意見を参考にして、アンケートをもう一度練り直して次回提案したいと思う。

(委員長)

またスケジュールも用意していただきたい。

(事務局)

分かりました。前回出した資料の中にアンケート調査の場合のスケジュールを提案さ

せていただいた。来年、令和6年の2月議会で校名を決定していきたいと考えている。もう一度スケジュールを提案させていただく。

3 連絡事項

(事務局)

次回の開催日時は3月中旬の15:30~17:00を予定している。正式に決まりましたら連絡をさせていただく。

役職交代による委員の交代について、この年度末の時期は、役員改選の時期だと思うので、後任の役員の報告をお願いします。

役員を交代する際には、これまでの話合いの経過を確実に伝えること。期限は、3月27日事務局まで提出。

FAX やメールで提出して下さって構わない。報告用紙のデータをメールで送信する。

前回いただいた質問に対する回答を口頭で行った。

最後に開校準備だよりの発行については、1月18日付け自治会回覧で配布済み。各小中学校と向笠幼稚園、大藤こども園については、児童生徒、幼児数で配布済み。岩田こども園については、園に30部渡してあり、必要な方が持参できるようにしてもらっている。

第2回準備委員会のたよりと議事録は、ホームページで公開済み。

(教育長)

本当に貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。また、地元の方々、保護者の方々に理解を図るってということは、本当にやっても、やっても足りないという話がありましたけれども、いろんなところで機会をもち説明をしていくというふうに考えています。4年前から、いろいろ説明会をさせていただく中で、いろいろな方に来ていただきましたが、特に保護者の方に聞いていただきたいということで、保護者を対象とした説明会を実施したことを覚えています。でも、それからもう4年たっていますので、今の進捗状況をお伝える、そして理解を深めるというところが必要かなと思いますので、またその辺りもこちらの方で考えていきたいと思います。本当にまた、いろいろお気づきの点あったらどんどん教えてください。本日は、本当にありがとうございました。